

生活困窮者支援に必要と 考えられる視点

生駒市役所 田中明美

社会的包摂サポートセンター 遠藤智子

藤里町社会福祉協議会 菊池まゆみ

日本福祉大学 原田正樹

生活困窮者支援に必要な視点

第3章

- 第1節

特性を踏まえた支援

- 第2節

健康・保健の視点

- 第3節

権利擁護の視点

- 第4節

個人情報保護の視点

生活困窮支援の対象者

テキストで取り上げた例

ニート、ひきこもり、精神疾患、
知的障害および知的障害が疑われる人、
発達障害および発達障害が疑われる人、
虐待、多重・過剰債務、
ホームレス、矯正施設出所者等、
外国籍者、性暴力被害者、
セクシュアル・マイノリティ など

テキスト 第3章

徹底した個別支援が基本：その「人」を捉える
対象者の特性、その人の背景や経過、ニーズ
の要因などを把握する。

特性を知っておくことで、支援の「見通し」を持
つことができる。

制度の狭間におかれる対象者をつくらない。
特性にとらわれると、縦割りの分類につながる。
支援の個別性、特性と共通性を理解する。

本セッションのすすめ方

事例報告 × 3事例

1. 事例報告 25分

2. カード作成 5分

青 「参考になったこと」

ピンク 「今の自分や地域では難しいかも」

3. 報告者に対するインタビュー 15分

4. カードの共有 5分

ワークショップ

3つの事例報告を通して、共通事項を整理する

Step1

青色のカードを紹介しあう。

似ている内容のカードを集めてみる。

グループとして「参考になった点」を確認する。

Step2

ピンクのカードを紹介しあう。

似ている内容のカードを集めてみる。

共通して課題だと思われることは何か整理する。

Step3

カードをあわせて「支援に必要な視点」を整理する。

カードの整理

作業1

模造紙の1/2に「青」のカードを並べる。
類似したカードを集める。

作業2

類似したカードの塊ごとに、「ピンク」カードを置く。ここにマジックで、「見出し」をつける。

作業3

同じ作業を、「ピンク」のカードで行う。
「青」のカードで見出しをつける。

作業4

左右を比較して、つながりを考える。

プレゼンとディスカッション

A列 と B列 がペアになる。

セッション1

A列のプレゼン 3分

プレゼンを聞いた後に、質疑をする 3分

セッション2

B列のプレゼン 3分

プレゼンを聞いた後に、質疑をする 3分